



かわじま

編集発行 川島村役場 電話川島 0492(97)1811代 毎月1回20日発行



“群がるシラサギ”この貴い自然をいつまでも……

(7月27日、平沼耕地にて)

ひとこころはどこにでも見られた情景だが、最近、都市化の波や農薬の使用などがもとで、減少の一途をたどっている。この失なわれつつある自然をとりもどし、人間と自然との調和をはかっていきたいものである。

8

1972
No.150

交通事故ゼロに向って

- 運転手も歩行者もルールを守って明るい生活
 - 交通法規まもって運転帰宅の笑顔
- 安全標語 友二地区 —

人口と世帯	
(8月1日現在)	
総人口 15,221人	
前月との差 10人減	
男 7,505人	
女 7,706人	
世帯数 3,051世帯	

天位 評	木洩陽を瞳に遊ばせて牛涼し	小林 啄水
天位 評	日の光が僅かに洩れて来る樹陰に遊んでいる牛の写生	猪鼻 ハル
人位 評	であるが、何時の間にか作者が牛となつて木洩陽を樂しみながら涼をとつていて姿が浮んで来る。	「娘をもつ親として誰しもが味わうであろう心境」
人位 評	山百合や静かに綴る旅日記	十日間続きし田植今日終えて
佳作 評	静かな山の宿で楽しい旅の思い出を綴つていて机に山百合がこころよい香りを漂わしている。	夜まで体のほとり覚ゆる
佳作 評	法師蟬矢つき早鳴き日をちぢむ	「田植が済んだ安堵、夜までほてる体は真実」
人位 評	秋の始めに忙しけに鳴き出す法師蟬は日をちぢめて行くようを感じられる。	小峰 良助
佳作 評	雨に濡る合歡に送られ朝の宿	選者 田口 葱園
佳作 評	梅雨あけの日本列島小刻みに	佛壇 選者 菊池 林風
佳作 評	ひぐらしの忙しく啼きて雷模様	鹿山 誠堂
佳作 評	古池や静かに沈む桐一葉	選者吟 梅雨晴や一点の蝶となりて飛ぶ
佳作 評	風鈴の緑より遺影に留守托す	月の瀬に河鹿銀鈴転ばせて
佳作 評	花茗荷葬の人寄る外かまど	※おわび：先月号併壇の人位、「向日葵に真向ひて座す児の写生」の作者は、猪鼻ハルでした。
佳作 評	口論の果て悔残し汗を拭く	九月号季題 曼珠沙華・鶴雲 十月号季題 白露・朝寒
佳作 評	青嵐野は逆らはず大うねり	※その月の七日までに企画室広報係まで。
当季雑誌などの得意な季語を自由に駆使できる		

- 県の行政について、問い合わせ、要望、苦情、意見その他お気づきのことなど
- お持ちの方。お電話、お手紙でかまたは電話、お手紙でも結構です。
- 巡回相談は、当村は毎月10日です。
- △ 時間 十時～十五時
- △ 場所 中央公民館
- ◎ 当県民室へ直接来室かまたは電話、お手紙で
- 交通事故について、相談されたい方
- ◎ 県民室で毎週金曜日

泰平一家



川越商を三人以上卒業した家族調べ

川越商業高校を、一家で三人以上卒業した家族を調べています。該当の家庭がありましたら、教育委員会事務局までお知らせください。電話でも結構です。

水道使用量

(7月分)

89,350立方㍍

1立方㍍は、石油のドラム缶5本分

賞品 正解者多数の場合は、抽せんの結果、十名の方に粗品を進呈します。

正解者 なし
前回の答
三百六十一人

回答は 九月七日までにハガキで役場広報係へ

クイズ 問題 新たに新設された福社資金の対象はいくつでしょう。

ワイル病に注意を

ワイル病は急性の伝染病その病原菌は黄疸出血性レプトスピラといい、媒介はドブネズミの尿をとおして人間の皮膚から体内に入り血液中や臓器等で増殖します。

症状は、発熱、黄疸、出血、腎炎、循環器障害などで、病原菌は全国的に散在していく、稻田、井戸等で発見されます。

予防策としては、ネズミを退治することからはじめてワクチン接種によびます。

川越商業高校を、一家で三人以上卒業した家族を調べています。該当の家庭がありましたら、教育委員会事務局までお知らせください。電話でも結構です。

川越商を三人以上卒業した家族調べ



消費生活センターより
9月教室のご案内

川越消費生活センターでは、次とおり消費生活一日教室を開催しておりますので、振って参加してください。

会場 川越消費生活センター（松江町2-1-8）
☎24-3558~9

受講料 無料
申込方法 当センターか役場経済課まで申し込みください。

日時	チーク
9月7日(木)	陶磁器を調べる（テスト結果から——鉛の検出）
9月14日(木)	これから的生活設計
9月21日(木)	盆栽を鉢物の手入れ（実習）
9月28日(木)	新しい繊維のいろいろ

※時間はいずれも午前10時から12時までです。

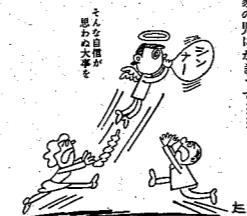
盆踊り大会

夏の夜を彩る盆踊り
大会は、七月二十二日
三保谷地区を皮切りに
各地区で続けれています。
三保谷地区にて

さる八月三日、午後八時
より、小川町東中学校々庭
で第六回埼玉県消防協会第
二ブロック消防操法大会が
行なわれ、本村からも第一
分団が出場しました。

雨天体操場へ改裝

三保谷小の旧校舎



心身共に健康な青少年に

夏季は、青少年が心身共に成長するうえに非常にこのましいときであるとともに、青少年非行、交通及び水難事故等の問題が発生しやすい時期でもあります。そこで、村の青少年問題対策協議会においても夏季の青少年健全育成対策にボーネルンド、シンナー等の乱用防

止を重点目標として打ち出しています。

三保谷小学校では、この方（三教室と廊下）です。これからは児童の雨天体操場や帰人会、老人クラブなどを張り替えステージを造つなど、幅広く活用できるでしょう。

当村へ産物として本格的に導入されたのは昭和三十一年頃で、東大塚地区に十数名が栽培を始めた。

当時、鴻巣の江野氏より苗の提供や助言を受け、また、県の園芸特産課や農業改良普及所の指導で軌道に乗り始め、埼玉県桃連合会の川島支部が結成された。

しかし、その矢先、昭和四十一年の霜害で果実への

損傷、同年秋の台風による付されていました。

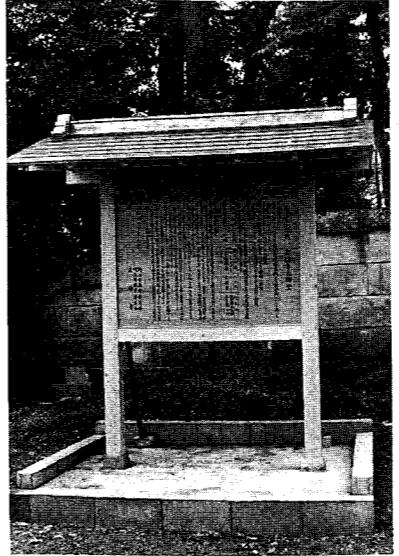


放水はじめ!!

さる八月三日、午後八時より、小川町東中学校々庭で第六回埼玉県消防協会第
二ブロック消防操法大会が行なわれ、本村からも第一分団が出場しました。

大御堂に案内板を新設

本村の国指定重要文化財の広徳寺大御堂前に、新しく案内板が設置されました。



富士登山

さる八月五日・六日の両日にわたり富士登山が実施され、約三十名の老若男女が参加し、全員元気に登頂しました。

富士登山付近にて

二日目は景勝地として名高い紅葉台に登りましたが、頂上からの景色は全く素晴らしいものでした。下山後氷穴・白糸の滝を見てキャンプ場に帰りました。

夜になると生徒たちの手で演芸大会が開かれ、フォークダンスや合唱が次々に飛び出しました。

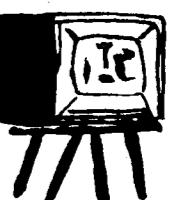


河口湖キャンプ！

さる七月二十一～二十二日最後の日は十時頃キャンプ場を出発し富士スバルライン通り五合目まで行き、その後、中央高速道を経てわれました。

三日間のキャンプ生活を簡単に紹介しますと、まず第一日目は小田原を経て元梨県の河口湖を中心に行なわれました。

こうして三日間のキャンプ生活は、無事に、しかも簡単に紹介しますと、まず第一日目は小田原を経て元梨県の河口湖を中心に行なわれました。



お年寄りに記念品

米寿以上の

ことしも県では、九月十五日の「敬老の日」にちなんで、米寿以上のお年寄りのみなさんに記念品をお贈りすることにしました。

八十八歳の人には、米寿以上の年配の人には、別記念品をお贈りします。また、七人の百歳以上の人には、知事や副知事、民生部長が訪問して特別祝品をお渡しすることにしています。

該当する方は、どうぞお楽しみに。

エーションを中心としたもので、同世代の若者の人式を迎える若者を対象として、連帶意識を深めることが目的です。

かた、もっとくわしく知りたいかたは教育委員会事務局まで。

倒壊などの天災が続き、これを利用として作付も減少した。本村の土質は桃の木に対する適度な生育技術が難かしい。また、苺の収穫期と桃の開花期が重なるためこれらの両立は困難である。

夫氏宅が栽培に執心し継続しており、品種は倉方（早生）と大久保（奥手）が作

現在は、東大塚の小林吉



